付属資料：調査票

平成 30 年度　県民意識調査

平成 30 年５月

質　問　用　紙

【調査の目的】

◇この調査は、秋田県が実施する調査で、県政の重要テーマに関する取組への評価などを県民の皆様からお伺いし、各種政策の立案や政策評価等に反映させることを目的としています。

【調査票の取扱い】

◇調査結果は、全て統計的に処理しますので、個別の回答内容が公表されることはありません。また、他の目的に利用されることも一切ありません。

【記入に当たってのお願い】

◇この調査には、宛名のご本人がお答えください。
　※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答は不要です。
◇ボールペンや鉛筆等で、**別紙の回答用紙**に記入してください。
◇回答を１つだけ選んでいただく質問と、複数選んでいただく質問があります。

別紙の回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、

６月６日（水）までに投函してください。

なお、この質問用紙は、返送の必要はありません。
また、返信用封筒にあなたの住所、氏名等の記載は不要です。

©2015 秋田県んだッチ H290270

【問い合わせ先】

◇この調査に関する質問などがございましたら、以下までお問い合わせください。

〒０１０－８５７０　秋田市山王四丁目１－１
秋田県企画振興部　総合政策課　計画・評価班
電　話：０１８（８６０）１２１７（直通）
ＦＡＸ：０１８（８６０）３８７３
メール：seisaku@pref.akita.lg.jp

問１　『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』(※)の取組に関連することについて、お伺いします。

※『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』とは、平成 26 年度から 29 年度までの４年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の基本指針です。

あなたは、産業・エネルギー戦略に関する次の取組について、どのように評価しますか。５段階で評価してください。

質　　問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
① 企業の経営基盤の強化と地域産業の振興は？ 県内企業の競争力強化に向けて、経営相談や新製品・新サービスの開発支援、企業の事業承継を支援しています。	5	4	3	2	1	0
② 秋田の成長を牽引（けんいん）する企業の育成と成長分野への新たな事業展開は？ 航空機や医療機器など成長分野での、研究開発や新規参入支援のほか、商店街活性化や若者・女性等の起業を支援しています。	5	4	3	2	1	0
③ 「新エネルギー立県秋田」の創造と環境・リサイクル産業の拠点化は？ 風力発電や地熱発電など再生可能エネルギーの導入促進、小型家電等の使用済製品等の金属リサイクルを推進しています。	5	4	3	2	1	0
④ 海外取引の拡大と産業拠点の形成は？ タイや台湾など海外への販路拡大の支援、秋田港の国際コンテナ貨物の利用促進、成長分野の企業誘致を進めています。	5	4	3	2	1	0
⑤ 秋田の産業を支える人材の育成は？ 風力発電など成長分野を見据えた職業訓練の実施による人材育成のほか、合同就職面接会の開催等により県内就職を促進しています。	5	4	3	2	1	0

⑥ 産業・エネルギー戦略について、総合的にどのように評価しますか？	5	4	3	2	1	0

※回答は別紙の回答用紙に記入してください

【参考資料】『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』これまでの主な取組と代表指標の推移①

戦略１　産業構造の転換に向けた産業・エネルギー戦略

１－１　企業の経営基盤の強化と地域産業の振興

・産業デザインやマーケティングに関する指導、産業技術センターの研究員による技術支援を実施。

・全国に先駆けて事業承継支援に取り組み、H26～28 年度の事業承継完了件数が約 300 件に。

◎製造品出荷額等
（従業員４人以上の事業所）
11,236 億円（H24）⇒12,153 億円（H27）
◎製造業の付加価値額
（従業員４人以上の事業所）
4,435 億円（H24）⇒4,739 億円（H27）

１－２　秋田の成長を牽引する企業の育成と成長分野への新たな事業展開

・「航空機産業アドバイザー」による販路開拓支援や、国際認証の取得支援を実施。

・医工連携による、県内企業と大手医療機器メーカーとのマッチング支援を実施。

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等
（従業員４人以上の事業所）
627 億円（H24）⇒660 億円（H27）
◎医療機器等関連製造業の製造品出荷額等
（従業員４人以上の事業所）
504 億円（H24）⇒548 億円（H27）

１－３　「新エネルギー立県秋田」の創造と環境・リサイクル産業の拠点化

・風力発電の単年度導入量が H26～28 年度３年連続で全国１位になったほか、県内企業のメンテナンス業務への参入も拡大。

◎風力発電設備導入量
単年度：　9,950kW（H24）⇒ 74,153kW（H28）
累　積：138,464kW（H24）⇒355,111kW（H28）
◎環境・リサイクル関連対象企業の製造品出荷額等
118 億円（H24）⇒199 億円（H28）

１－４　海外取引の拡大と産業拠点の形成

・ポートセールス活動や港湾施設整備等の取組により、H28 年度の秋田港のコンテナ取扱量は、過去最高に。

・航空機や自動車産業における一次サプライヤーが立地。

◎秋田港国際コンテナ取扱量（実入り）
44,804TEU（H24）⇒50,776TEU（H28）
◎企業の誘致認定件数及び誘致済み企業等の施設・設備の拡充件数
20 件（H24）⇒23 件（H29）

１－５　秋田の産業を支える人材の育成

・技術専門校において、今後の成長が見込まれる輸送機や新エネルギー関連のカリキュラムを実施。

・高校生や大学生等を対象とした合同就職説明会・面接会を実施。

・Ａターン（※）就職希望者に対する求人情報の提供やＡターン就職相談会・面接会を実施。
※「Ａターン」とは、本県へのＵ・Ｉ・Ｊターンの総称。

◎県内大学生等の県内就職率
46.6%（H25）⇒45.9%（H28）

あなたは、農林水産戦略に関する次の取組について、どのように評価しますか。
５段階で評価してください。

質　　問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
⑦ “オール秋田”で取り組むブランド農業の拡大は？ 園芸メガ団地の整備や県オリジナル品種の生産拡大、「秋田牛」の生産体制の強化など、トップブランド産地づくりを進めています。	5	4	3	2	1	0
⑧ 秋田米を中心とした水田フル活用の推進は？ コシヒカリを超える良食味品種の育成、大豆など転作作物の生産振興、産地づくりと一体となったほ場整備等を進めています。	5	4	3	2	1	0
⑨ 付加価値と雇用を生み出す６次産業化の推進は？ 県産農産物の高付加価値化や加工・流通業者と生産者団体とのマッチング、国内外への販路拡大等を進めています。	5	4	3	2	1	0
⑩ 地域農業を牽引（けんいん）する競争力の高い経営体の育成は？ 担い手への農地集積・集約化や集落型農業法人の経営支援、女性による起業支援、新規就農希望者への支援等を進めています。	5	4	3	2	1	0
⑪ 全国最大級の木材総合加工産地づくりの推進は？ 原木生産の低コスト化や県産材の住宅等への利用促進、木質バイオマスの利用拡大、林業技術者の育成等を行っています。	5	4	3	2	1	0
⑫ 水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開は？ より適切な資源管理や地魚の加工品づくり・販売支援、担い手の育成や漁港施設の計画的な整備等を進めています。	5	4	3	2	1	0

⑬ 農林水産戦略について、総合的にどのように評価しますか？	5	4	3	2	1	0

※回答は別紙の回答用紙に記入してください

【参考資料】『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』これまでの主な取組と代表指標の推移②

戦略２　国内外に打って出る攻めの農林水産戦略

２－１　“オール秋田”で取り組むブランド農業の拡大

・えだまめの生産・販売対策に集中的に取り組んだ結果、東京都中央卸売市場への出荷量が H27、28 の２年連続で日本一に。

◎主な園芸作物（※）の販売額

12,473 百万円（H24）⇒16,029 百万円（H28）

※「主な園芸作物」とは、野菜６品目（えだまめ、ねぎ　など）、果樹５品目（りんご、なし　など）、花き５品目（キク、トルコギキョウ　など）に、しいたけを加えた合計 17 品目のこと。

◎黒毛和牛の出荷額

3,151 百万円（H24）⇒4,790 百万円（H28）

２－２　秋田米を中心とした水田フル活用の推進

プレミアムあきたこまち

転作大豆の刈取作業

・県産米の特色ある商品づくりを支援したほか、大豆や飼料用米等の生産拡大を支援。

◎秋田県産米の需要シェア

5.17%（H24）⇒5.49%（H28）

２－３　付加価値と雇用を生み出す６次産業化の推進

・６次産業化に取り組む事業体へのサポート体制の強化や６次産業化に取り組む JA 等の育成を実施。

◎６次産業化に取り組む事業体の農業生産関連事業の販売額

10,499 百万円（H23）⇒14,258 百万円（H27）

２－４　地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成

・農地中間管理機構による農地の集積・集約化に取り組んだ結果、担い手への農地集積率が 73%に向上。

◎農業法人数（認定農業者）

413 法人（H24）⇒609 法人（H29）

２－５　全国最大級の木材総合加工産地づくりの推進

林業大学校での測量研修

・H27 開講の林業大学校において林業の担い手育成を推進した結果、１期生 18 名全員が県内の林業関係企業に就職。

◎素材（木製品の原材料となる原木）生産量

983 千m^3（H24）⇒1,289 千m^3（H28）

２－６　水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開

ブランド化を進めている「北限の秋田ふぐ」

・少量ながらも多様な魚種が獲れる本県漁業の特徴を生かした水産物として、「北限の秋田ふぐ」「秋田オリジナルわかめ」等の差別化・ブランド化を推進。

◎海面漁協組合員１人当たりの漁業生産額

2,957 千円（H24）⇒2,821 千円（H29）

あなたは、観光・交通戦略に関する次の取組について、どのように評価しますか。５段階で評価してください。

質　　問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
⑭ ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光の推進は？ 「秋田犬」を前面に打ち出した観光キャンペーンを展開するとともに、二次アクセスの充実など受入環境の整備を図っています。	5	4	3	2	1	0
⑮ 秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大は？ 食品事業者群の育成や、本県の強みを生かした商品の開発促進、日本酒など県産品の国内外への販路拡大等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	0
⑯ 秋田の文化力の更なる向上による地域の元気創出は？ 本県の伝統芸能が一堂に会する「新・秋田の行事」の開催等により、交流人口を拡大し、地域の活性化を図っています。	5	4	3	2	1	0
⑰ 「スポーツ立県あきた」の推進は？ ジュニア期からの競技力向上や、生涯にわたる健康づくりの推進、大規模スポーツ大会や合宿の誘致等を行っています。	5	4	3	2	1	0
⑱ 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進は？ 県内高速道路の早期全線開通に向けた計画的な整備促進のほか、幹線道路、生活道路の整備を推進しています。	5	4	3	2	1	0
⑲ 交通ネットワークの利便性向上と地域交通の確保は？ 航空路線、第三セクター鉄道、生活バス路線等を維持するため、利用促進策の展開や運営支援等を行っています。	5	4	3	2	1	0

⑳ 観光・交通戦略について、総合的にどのように評価しますか？	5	4	3	2	1	0

※回答は別紙の回答用紙に記入してください

【参考資料】『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』これまでの主な取組と代表指標の推移③

戦略３　未来の交流を創り、支える観光・交通戦略

３－１　ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光の推進

・台湾、韓国、タイ、中国・香港を中心とした誘客プロモーションにより、H24～29 に外国人宿泊客数が約 3.6 倍に増加。

◎延べ宿泊客数
3,461 千人（H24）⇒3,158 千人（H29 速報値）
◎全国規模の大型コンベンションの開催件数（県外宿泊客数がおおむね 500 人以上のもの）
8 件（H24）⇒10 件（H29）

３－２　秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大

・国際見本市における県産品 PR や台湾、シンガポール、パリにおける商談会等により、日本酒等の県産品の輸出が順調に増加。

◎食料品・飲料等の製造品出荷額等
1,136 億円（H24）⇒1,205 億円（H27）
◎農産物・加工食品等の輸出金額
476 百万円（H24）⇒634 百万円（H28）

３－３　秋田の文化力の更なる向上による地域の元気創出

大館市に伝わる
代野番楽

・2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い実施される文化プログラムを活用し、本県の文化を国内外に発信する取組を推進。

◎主要文化施設への入場者数
262,751 人（H24）⇒326,087 人（H29）
◎「あきた県民文化芸術祭」参加団体数
12 団体（H24）⇒44 団体（H29）

３－４　「スポーツ立県あきた」の推進

ＦＩＳモーグル
ワールドカップ
秋田たざわ湖大会

・スポーツ大会を通じた交流人口の拡大に取り組んだ結果、４年連続でＦＩＳモーグルワールドカップが本県で開催され、観客動員数も順調に増加。

◎成人の週１回以上のスポーツ実施率
48.7%（H25）⇒46.9%（H29）
◎国体における天皇杯得点
774.5 点（H25）⇒989.0 点（H29）

３－５　県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進

・日沿道「大館能代空港ＩＣ～鷹巣ＩＣ～二井田真中ＩＣ」間の供用開始等により、県内高速道路の供用率が 90%に向上。

◎県内高速道路の供用率
83%（H25）⇒90%（H29）

３－６　交通ネットワークの利便性向上と地域交通の確保

空の玄関口
秋田空港

・関係団体と連携した利用促進や誘客プロモーションにより、国際チャーター便が過去最多になるなど、県内空港の利用者数が順調に増加。

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員
5,219 千人（H23）⇒4,940 千人（H28）

あなたは、健康・医療・福祉戦略に関する次の取組について、どのように評価しますか。５段階で評価してください。

質　　問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
㉑ 元気で長生きできる健康づくりの推進は？ 減塩や運動習慣の定着など生活習慣改善に向けた普及啓発や、がん予防のための受動喫煙防止対策等を推進しています。	5	4	3	2	1	0
㉒ いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化は？ 地域の中核的な病院の機能強化や救急・周産期医療、在宅医療の体制整備等と併せ、医師等の確保・育成を進めています。	5	4	3	2	1	0
㉓ 高齢者や障害者等を地域で支える体制づくりは？ 認知症施策の推進や地域包括ケアシステムの構築、障害者の地域生活の支援、介護・福祉人材の確保等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉔ 民・学・官一体となった総合的な自殺予防対策の推進は？ 自殺予防街頭キャンペーン等による普及啓発や各種相談体制の充実、地域において自殺予防に取り組む人材の育成等を行っています。	5	4	3	2	1	0

㉕ 健康・医療・福祉戦略について、総合的にどのように評価しますか？	5	4	3	2	1	0

※回答は別紙の回答用紙に記入してください

【参考資料】『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』これまでの主な取組と代表指標の推移④

戦略４　元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略

４－１　元気で長生きできる健康づくりの推進

高校生 おいしく減塩・野菜もとれる
レシピコンクール

・減塩と野菜摂取をテーマとしたラジオＣＭや、運動講習会、健（検）診受診率向上など、各種啓発活動を実施。

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率　43.4（H24）⇒37.9（H28）

◎がんによる人口 10 万人当たり 75 歳未満年齢調整死亡率　89.0（H24）⇒87.4（H28）

４－２　いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化

県内臨床研修病院合同説明会

・県、大学、病院が一体となった医師確保の取組により、県内で初期臨床研修を開始した医師が、H28 は過去最高の 84 人、H29 は過去２番目の 76 人。

◎病院の勤務医師数

1,305 人（H24）⇒1,294 人（H29）

４－３　高齢者や障害者等を地域で支える体制づくり

秋田県認知症疾患医療センター
（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

・認知症サポート医やかかりつけ医、認知症介護指導者の養成のほか、県内９か所への認知症疾患医療センターの設置など、認知症の早期診断・対応の体制を整備。

◎健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）

男性：70.46 年（H22）⇒71.21 年（H28）

女性：73.99 年（H22）⇒74.53 年（H28）

４－４　民・学・官一体となった総合的な自殺予防対策の推進

自殺予防普及啓発街頭キャンペーン

・自殺予防に関するキャンペーンや人材の育成、市町村や民間団体の取組への支援など、総合的な自殺予防対策を実施。

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率

27.6（H24）⇒23.8（H28）

あなたは、教育・人づくり戦略に関する次の取組について、どのように評価しますか。５段階で評価してください。

質　　問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
㉖ 自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成は？ ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進、専門高校の教育内容の充実、地域企業との連携による人材育成を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉗ 確かな学力の定着と独創性や表現力の育成は？ 組織的な授業改善や少人数学習の推進等によるきめ細かな指導、英語コミュニケーション能力の育成を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉘ 豊かな心と健やかな体の育成は？ 道徳教育の充実と教育相談体制の整備、長期宿泊体験活動の推進、運動部活動への支援、健康教育や食育の推進を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉙ 良好で魅力ある学びの場づくりは？ 教職員の指導力向上のための研修、県立学校の再編整備、私立学校の支援、学校・家庭・地域の連携体制の強化等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉚ 生涯学習を行動に結び付ける環境と芸術・文化に親しむ機会づくりは？ 生涯学習を社会での行動に結び付ける活動の普及とその気運の醸成、読書環境の整備、芸術・文化体験の推進等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉛ 高等教育の充実と地域貢献の促進は？ 県内高等教育機関の特色ある教育研究活動への支援や、大学等による地域活性化や課題解決に向けた取組の促進等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉜ グローバル社会で活躍できる人材の育成は？ 学校での異文化体験の推進、留学生と小・中・高校生との交流促進、国際理解講座の実施等を行っています。	5	4	3	2	1	0

㉝ 教育・人づくり戦略について、総合的にどのように評価しますか？	5	4	3	2	1	0

※回答は別紙の回答用紙に記入してください

【参考資料】『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』これまでの主な取組と代表指標の推移⑤

戦略５　未来を担う教育・人づくり戦略

５－１　自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成

・地域の活性化に貢献する商品開発の活動など、子どもたちが主体的に地域の課題を解決するモデルづくりを推進。

◎高校生の県内就職率

65.9%（H24）⇒66.9%（H29 速報値）

５－２　確かな学力の定着と独創性や表現力の育成

意見の交流により、思考を広げ深める話合いの様子

・学力向上に向けた取組の充実や少人数学級の推進により、「全国学力・学習状況調査」において、H19の開始以来全国トップレベルを維持。

◎県学習状況調査における通過割合（正答率が設定正答率以上の問題数の割合）

72.8%（H24）⇒81.5%（H29）

５－３　豊かな心と健やかな体の育成

・スクールカウンセラーなどの専門家配置の充実等による教育相談体制の整備を実施。

◎学校のきまり（規則）を守っている児童・生徒（小６・中３）の割合

95.1%（H25）⇒96.6%（H29）

◎新体力テストにおける小・中・高の偏差値の平均

51.4（H25）⇒50.9（H29）

５－４　良好で魅力ある学びの場づくり

・県立学校の整備改築や教職員の授業力向上など、質の高い学習の基盤となる教育環境を整備。

◎授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合

小６：86.7%（H25）⇒88.6%（H29）

中３：78.5%（H25）⇒78.9%（H29）

５－５　生涯学習を行動に結び付ける環境と芸術・文化に親しむ機会づくり

◎地域で活動する行動人（こうどうびと：学んだことを行動に結び付け、社会に貢献している人）の数（累積）

16,332人（H24）⇒64,855人（H29）

５－６　高等教育の充実と地域貢献の促進

・秋田県立大学や国際教養大学をはじめ、国立・私立大学等の教育資源を活用し、県内就職率の向上など、地域課題解決に向けた取組を推進。

◎県内高等教育機関（７大学・４短大）の志願倍率

4.61 倍（H24）⇒3.52 倍（H28）

５－７　グローバル社会で活躍できる人材の育成

◎県内高等教育機関への外国人留学生数

454 人（H25）⇒432 人（H28）

◎県内高等教育機関から海外への留学生数

338 人（H24）⇒399 人（H28）

あなたは、地域力創造戦略に関する次の取組について、どのように評価しますか。
５段階で評価してください。

質　　問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
㉞ 秋田への定着、移住・定住の拡大は？ 高校生向けの地元企業説明会の開催、Ａターン求人の掘り起こし、移住情報の発信や受入体制の整備等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㉟ 官民一体となった少子化対策の推進は？ 「脱少子化モデル企業」の認定と情報発信、交付金や応援ファンドによる市町村・民間団体・企業への支援等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㊱ 次の親世代に対する支援の充実強化は？ 高校生や社会人向けにライフプランを考えるセミナー等の機会の提供、「あきた結婚支援センター」の運営支援等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㊲ 子どもを産み・育てる環境の充実強化は? 保育料・医療費への支援、不妊治療への支援、男性の育児参加の働き掛け、奨学金制度の創設等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㊳ 地域の人材や資源を生かした地域力の向上は？ 除雪作業の地域での支え合い体制の構築、高齢者の社会参画の促進、農村等での交流活動の促進等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㊴ 人口減少社会を踏まえた地域コミュニティの活性化は？ 県内外の自治会同士の交流促進、地域運営体制の強化、地域資源を活用した元気ムラ活動への支援等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㊵「協働」の多様な担い手の確保と活動の推進は？ ＮＰＯ等の経営基盤の強化、コミュニティビジネスの起業支援、女性の地域活動への参画支援等を行っています。	5	4	3	2	1	0
㊶ 県と市町村の協働の推進は？ 県から市町村への権限移譲や政策等の合意形成、地域課題解決のための「未来づくり協働プログラム」の推進等を行っています。	5	4	3	2	1	0

㊷ 地域力創造戦略について、総合的にどのように評価しますか？	5	4	3	2	1	0

※回答は別紙の回答用紙に記入してください

【参考資料】『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』これまでの主な取組と代表指標の推移⑥

戦略６　人口減少社会における地域力創造戦略

６－１　秋田への定着、移住・定住の拡大

・多様なメディアを活用した移住情報の発信や、移住相談窓口の充実強化により、移住者数が大幅に増加。（33 人（H25）⇒293 人（H28））

◎Ａターン（本県へのＵ・Ｉ・Ｊターン）就職者数
1,121 人（H24）⇒952 人（H28）

６－２　官民一体となった少子化対策の推進

◎脱少子化モデル企業（積極的に脱少子化に取り組む模範的な企業・団体）数（単年度）
28 件（H25）⇒30 件（H28）

６―３　次の親世代に対する支援の充実強化

あきた結婚支援センター１０００人目成婚報告カップル

◎婚姻数
4,020 人（H24）⇒3,510 人（H28）
◎あきた結婚支援センターへの成婚報告者数（累積）
210 人（H24）⇒991 人（H28）

６－４　子どもを産み・育てる環境の充実強化

・子どもの保育料・医療費助成や住宅リフォーム支援のほか、多子世帯向けの奨学金制度など、全国トップクラスの子育て支援策を充実。

◎出生数
6,100 人（H25）⇒5,666 人（H28）
◎合計特殊出生率（１人の女性が生涯に産む子どもの人数の平均）
1.37（H24）⇒1.39（H28）

６－５　地域の人材や資源を生かした地域力の向上

・人口減少の進行等による地域コミュニティの機能低下に対応するため、県民が地域で安全・安心に暮らすことができる支え合い体制の構築等を支援。

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合
43.3%（H25）⇒44.1%（H28）

６－６　人口減少社会を踏まえた地域コミュニティの活性化

あきた元気ムラ大交流会

◎「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」の登録地区数（累積）
52 地区（H25）⇒80 地区（H28）

６－７　「協働」の多様な担い手の確保と活動の推進

・協働社会の構築に向けて、ボランティア講座の開催やＮＰＯに対する情報提供のほか、ＮＰＯや企業など地域活性化に取り組む多様な主体の連携等を支援

◎県と NPO、公益法人、企業、大学等との協働件数
621 件（H24）⇒1,788 件（H28）

６－８　県と市町村の協働の推進

・県と市町村が一体となって業務を行う「機能合体」等を推進。
・H27 までに全市町村が「未来づくり協働プログラム」を実施し、観光振興や産業振興等の多様な取組を推進。

◎自治体同士の連携が実現した取組数
0 件（H24）⇒10 件（H28）

※ここから回答用紙は２ページ目に移ります。

問２　県政の重要課題について、お伺いします。

今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れて欲しいことは何ですか。５つまで選択して番号を記入してください。

1	教育・人づくりの推進	21	農作物の新品種や新技術の研究・開発
2	交通ネットワーク等の整備	22	農林水産業の担い手の育成・確保
3	災害の防止・対策のための基盤整備	23	ＰＲや商品開発による食品産業の振興
4	犯罪や事故のない社会の構築	24	企業支援による産業の振興
5	暮らしやすい生活圏の機能維持	25	産業集積や企業誘致の促進
6	協働社会づくりによる地域社会の活性化	26	誘客活動やＰＲによる観光の振興
7	ボランティア・ＮＰＯ活動の推進	27	中国・ロシア・東南アジア等の海外との貿易の振興
8	文化・スポーツの振興	28	環境・リサイクル産業の振興
9	出会いや結婚への支援	29	新エネルギーの導入促進や関連産業の創出
10	出産や子育てのしやすい環境の整備	30	新たな産業・ビジネスの創出・支援
11	保健・医療サービスの充実	31	県内産業を支える人材の育成
12	がん対策や自殺予防等の推進	32	若者等の就業支援や雇用環境の整備
13	介護等の福祉サービスの充実	33	県内へ移住・定住できる環境づくり
14	国際交流の推進	34	企業による「仕事と育児・家庭の両立支援」の促進
15	男女共同参画の推進	35	地球温暖化防止等の環境政策の推進
16	ＩＴ・科学技術の活用	36	自然環境の保全
17	農林水産物の販売環境の整備	37	文化遺産や景観の保全
18	農林水産物の産地づくり	38	市町村等との連携
19	水田や森林などの生産基盤の整備	39	行財政改革の推進
20	食の安全・安心の確保	40	その他
			（　　）

問３　県に特に力を入れて欲しいことについて、自由に記述してください。

問４　県の特定課題について、お伺いします。

若者の就業支援や雇用環境の整備について

㊸　あなたは、若者の県内就職を増加させるために必要な施策は、次のうちどれだと思いますか。（○は３つまで）

１　県内産業の活性化による雇用の拡大	２　若者にとって魅力ある分野の企業の誘致
３　県内企業の賃金向上や処遇改善の推進	４　職業訓練や社会人教育の推進
５　県内企業の情報提供や学生等とのマッチングの強化	６　起業する若者に対する支援
７　学校におけるふるさと教育の強化	８　その他（　　）

県の広報活動について

「秋田の元気」を創造するためには、県政に対する県民の皆様からの理解と信頼、参画が必要であることから、県では、多様な媒体を活用した広報活動を進めています。

㊹　あなたは県の施策・事業等を何から知ることが多いですか。（○はいくつでも）

１　県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等）
２　県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等）　３　県政広報番組（テレビ、ラジオ）
４　新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組
５　ソーシャルメディア（ブログ、ツイッター、フェイスブック、動画サイト　等）
６　その他（　　）

㊺　あなたは広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ等による広報活動は十分に行われていると思いますか。（○は１つ）

１　十分行われている	２　ある程度行われている	３　あまり行われていない
４　行われていない	５　どちらともいえない	

家庭での防災活動について

県では、災害発生時の人的被害を最小化するため、防災意識の向上に向けた地域住民の取組を促進しています。

㊻　あなたの家庭では、災害時の備えとして、家族人数×３日分の水・食料等の備蓄（※）をしていますか。（○は１つ）

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管しており、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰などの、飲料水、食料品なども含みます。

１　３日分以上の備蓄をしている	２　備蓄はしているが、２日分以下である
３　備蓄はしていない	

㊼　あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか。（○はいくつでも）

1　地域の防災訓練への参加	2　災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握
3　最寄りの緊急避難場所等の確認	4　緊急避難場所等への避難経路の確認
5　災害時の家族への連絡方法の取り決め	6　非常時持ち出し品の用意
7　家具等の固定	8　その他（　　）

読書活動について

県では、県民がいつでも、どこでも、だれでも、本に親しめる環境の中で、読書を通してコミュニケーションや仲間づくりを広げていく「日本一の読書県」を目指して取組を進めています。

㊽　あなたは読書（※）が好きですか。（○は１つ）

※読書には、本、雑誌、新聞、オーディオブック、電子書籍、子どもへの読み聞かせも含みます。オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したＣＤやカセット等のことです。

1　好きだ	2　どちらかといえば好きだ
3　どちらかといえば好きではない	4　好きではない

㊾　あなたは１日平均どれくらい読書をしていますか。（○は１つ）

※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、１日平均に置き換えてください。

1　２時間以上	2　１～２時間	3　３０分～１時間	4　３０分未満
5　全く読まない			

㊿　㊾の質問で「５」を選んだ方にお聞きします。あなたが読書をしない理由は何ですか。（○は２つまで）

1　仕事が忙しい	2　家事・育児・介護が忙しい
3　他に興味のあることやその活動が忙しい	4　近くに図書館や書店がない
5　気力・体力がない	6　視力が衰えたため
7　家族の理解がない	8　その他（　　）

男女共同参画について

(51)　「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか。（○は１つ）

1　賛　　成	2　どちらかといえば賛成	3　どちらかといえば反対
4　反　　対	5　わからない	

子育て環境づくりについて

(52)　あなたの家庭や地域、職場において、子どもを産み育てやすい環境が整っていると思いますか。（○は１つ）

1　整っている	2　ある程度整っている	3　あまり整っていない
4　整っていない	5　どちらともいえない	

㊸　県では、少子化対策として、子育て家庭に対して、保育料や医療費の助成など様々な経済的支援を行っていますが、これについてどう思いますか。（○は１つ）

１　十　　分	２　おおむね十分	３　ふつう
４　やや不十分	５　不十分	６　わからない

地域社会の住みやすさについて

㊹　あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについて、どう思われますか。（○は１つ）

１　住みやすい	２　やや住みやすい	３　やや住みにくい
４　住みにくい	５　どちらでもない	

社会活動・地域活動について

県では、地域に住む人たちがそれぞれの立場から可能な限り社会活動や地域活動《ボランティア活動、自治会活動(農山漁村集落の維持・活性化活動を含む)》に参加し、様々な課題解決に取り組んでいくことを推進しています。

《具体例》　地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い等

㊺　あなたは 「社会活動・地域活動」について関心がありますか。（○は１つ）

１　関心がある	２　ある程度関心がある	３　あまり関心がない
４　関心がない	５　どちらともいえない	

㊻　ここ１年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」に取り組んだことがありますか。（どちらかに○）

１　ある	２　ない

㊼　㊻の質問で「１」を選んだ方にお聞きします。「社会活動・地域活動」に取り組んだ頻度でもっとも当てはまるものはどれですか。（○は１つ）

１　週５日以上	２　週１日程度	３　月１日程度
４　年１日程度	５　特定の期間（夏の間２週間など）	
６　その他（具体的に　　）		

㊽　あなたは、幅広い県民層や多様な主体の協働による地域社会づくりについて、県の取組をどのように評価しますか。（○は１つ）

１　十分	２　おおむね十分	３　ふつう
４　やや不十分	５　不十分	６　わからない

㊾　「集落」の維持・活性化に関して、どのような対策が特に必要だと思いますか。（○は１つ）

１　住民自身の意識高揚	２　集落における担い手の確保
３　買い物、除雪、バス交通等の生活維持対策	４　近隣集落等との交流・連携
５　移住・定住対策	６　その他（具体的に　　）

高齢者の社会参加について

⑹　60 歳以上の方にお聞きします。あなたは平成 29 年度に、仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか。（どちらかに○）

１　行った	２　行っていない

認知症について

⑹　あなたは認知症の症状や認知症の方への対応の仕方を知っていますか。（○は１つ）

１　具体的に知っている	２　ある程度知っている
３　言葉は知っているが、内容は知らない	４　「認知症」という言葉を初めて知った

高齢者福祉サービスについて

⑹　あなたの住む地域において、高齢者のための福祉サービス（在宅での介護サービスや老人ホームなどの施設の利用しやすさなど）が充実していると思いますか。（○は１つ）

１　充実している	２　ある程度充実している	３　あまり充実していない
４　充実していない	５　どちらともいえない	

がん対策について

⑹　あなたは、日本人の２人に１人はがんになることを知っていますか。（どちらかに○）

１　知っている	２　知らない

⑹　がんを早期に発見するためには、がん検診をどのように受ければよいと思いますか。（○は１つ）

１　定期的に受ける	２　体調に心配がある時に受ける	３　わからない

雪対策について

⑹　あなたは、平成 29 年度の冬期間に自宅の除雪や、行政が行った道路除雪など、雪に関して困ったことがありましたか。（どちらかに○）

１　ある	２　ない

⑹　⑹の質問で「１」を選んだ方にお聞きします。あなたが困ったことで、当てはまるものはどれですか。（○は３つまで）

１　屋根の雪下ろし	２　自宅敷地内の除雪	３　道路除雪後の自宅前の除雪
４　道路除雪の回数の不足	５　水道管等の凍結	６　その他（　　）

環境保全活動について

⑰　あなたはこれまで、環境保全活動（講演会やクリーンアップ活動等）に参加したことがありますか。（どちらかに○）

1　ある	2　ない

⑱　⑰の質問で「１」を選んだ方にお聞きします。あなたはこれまで、どのような環境保全活動に参加したことがありますか。（○はいくつでも）

1　環境問題に関する講演会やセミナーなど	2　クリーンアップなどの美化・清掃活動
3　自然観察会や自然学習会など	4　大気や水質の測定、水生生物の調査など
5　植樹・間伐・下刈りなどの森林保全活動	6　その他（　　）

地球温暖化対策について

⑲　あなたは「地球温暖化対策」と、「経済の発展・生活の利便性向上」のどちらを優先させるべきだと思いますか。（○は１つ）

1　地球温暖化対策を優先させるべき
2　経済の発展・生活の利便性向上を優先させるべき
3　経済の発展・生活の利便性向上に一定の配慮をしつつ、地球温暖化対策に取り組むべき
4　わからない

⑳　あなたは、地球温暖化防止に関してどのような取組（予定を含む。）をしていますか。（○はいくつでも）

1　冷暖房の温度設定の調節（室温を夏は 28℃以上、冬は 20℃以下にするなど）	
2　冷蔵庫の温度調節を季節に合わせて変更	
3　エコドライブ（ふんわりアクセル、アイドリングストップなど）	
4　地域における環境活動への参加	5　自転車や公共交通機関の利用
6　家電・白熱灯・給湯器を省エネ型に買い換え	7　既存住宅の断熱改修
8　その他（　　）	

海岸漂着ごみ対策について

本県の海岸には、プラスチックや流木など多くのごみが漂着しており、県では、海岸における良好な景観や環境の保全を図るため、海岸に漂着するごみの回収処理と発生抑制に関する事業を実施しています。

㉑　秋田県の海岸には毎年のようにごみが漂着し、海岸を汚すなどの問題が発生していますが、このことを知っていますか。（どちらかに○）

1　知っている	2　知らない

㉒　この問題に対処するため、県などでは海岸や河川での清掃や発生抑制に関するイベントを実施する取組を続けてきましたが、このことについてどのように考えますか。（○は１つ）

1　必要である	2　必要ではない	3　わからない

循環型社会の形成について

循環型社会とは、「資源を効率的に利用し、できる限りごみを出さず、やむを得ず出るごみは資源として再利用し、利用できないごみは適正に処分する」という考え方が定着し、それが実行されている社会のことです。

⑬　あなたはごみを減らすために日ごろの暮らしの中で、どのような取組をしていますか。（○はいくつでも）

1　食品を買う際に、在庫を確認し必要なものだけ買うようにしている
2　ごみが少なくなるよう調理方法を工夫することや、出された料理を食べきることを心がけている
3　使い捨て製品を選ばず、長期間使用できるものを買うようにしている
4　内容が同じ商品であれば、容器・包装の使用が少ないものを選んで買うようにしている
5　買い物の際に、買い物袋やカバンを利用し、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている
6　古着をぞうきんにするなど、不要となったものを別の目的に使用するようにしている
7　リサイクルショップやバザーなどを活用し、日用品や家財、衣類などを再利用するようにしている
8　ビン・缶などの分別や、スチロールトレイの回収に協力している
9　生ごみは水切りを十分行い、堆肥化できるものは堆肥として利用している
10　その他（具体的に　　）

⑭　循環型社会の形成に向けて、県にどのような取組を期待しますか。（○はいくつでも）

1　ごみの減量化やリサイクル方法などの情報提供や環境学習等の充実
2　ごみの有料化やリサイクル推進などの市町村への働きかけ
3　稲わらやもみ殻、廃木材などの利活用の推進
4　金属リサイクルや食品リサイクル、リサイクル製品の普及などの循環型社会ビジネスの振興
5　売れ残りや期限切れの食品、食べ残しを減らす取組の推進
6　その他（具体的に　　）

問５　あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身についてお知らせください。
なお、選択肢は回答用紙にありますので、回答用紙をご覧になってご記入ください。

⑮　あなたの性別（どちらかに○）

⑯　あなたの年齢（○は１つ）

⑰　あなたのお住まいの地域（○は１つ）

⑱　あなたの家族構成（○は１つ）

⑲　あなたが秋田県にお住まいになってからの、通算の居住年数（○は１つ）

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に回答用紙のみを入れて、６月６日（水）までにご投函ください。

平成３０年度　県民意識調査

※ 別紙の質問用紙を見ながら回答してください。

回 答 用 紙

問１　『第２期ふるさと秋田元気創造プラン』の取組に関することについて、５段階で評価し、当てはまる番号に○をつけてください。（質問用紙１～12ページを参照）

産業・エネルギー戦略について（質問用紙１ページ）

質問	十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
例）	5	4	③	2	1	0
①	5	4	3	2	1	0
②	5	4	3	2	1	0
③	5	4	3	2	1	0
④	5	4	3	2	1	0
⑤	5	4	3	2	1	0
⑥	5	4	3	2	1	0

農林水産戦略について（質問用紙３ページ）

⑦	5	4	3	2	1	0
⑧	5	4	3	2	1	0
⑨	5	4	3	2	1	0
⑩	5	4	3	2	1	0
⑪	5	4	3	2	1	0
⑫	5	4	3	2	1	0
⑬	5	4	3	2	1	0

観光・交通戦略について（質問用紙５ページ）

⑭	5	4	3	2	1	0
⑮	5	4	3	2	1	0
⑯	5	4	3	2	1	0
⑰	5	4	3	2	1	0
⑱	5	4	3	2	1	0
⑲	5	4	3	2	1	0
⑳	5	4	3	2	1	0

健康・医療・福祉戦略について（質問用紙７ページ）

㉑	5	4	3	2	1	0
㉒	5	4	3	2	1	0
㉓	5	4	3	2	1	0
㉔	5	4	3	2	1	0
㉕	5	4	3	2	1	0

教育・人づくり戦略について（質問用紙９ページ）

㉖	5	4	3	2	1	0
㉗	5	4	3	2	1	0
㉘	5	4	3	2	1	0
㉙	5	4	3	2	1	0
㉚	5	4	3	2	1	0
㉛	5	4	3	2	1	0
㉜	5	4	3	2	1	0
㉝	5	4	3	2	1	0

地域力創造戦略について（質問用紙11ページ）

㉞	5	4	3	2	1	0
㉟	5	4	3	2	1	0
㊱	5	4	3	2	1	0
㊲	5	4	3	2	1	0
㊳	5	4	3	2	1	0
㊴	5	4	3	2	1	0
㊵	5	4	3	2	1	0
㊶	5	4	3	2	1	0
㊷	5	4	3	2	1	0

問２　県政の重要課題について（質問用紙13ページ）

県に力を入れて欲しいことを選び、**数字を５つ**まで記入してください。

40.　その他（　　）

問３　県に特に力を入れて欲しいことについて、自由に記述してください。

問４　県の特定課題について（質問用紙14～19ページ）

当てはまる番号に○をつけてください。

若者の就業支援や雇用環境の整備について

㊸	1	2	3	4	5	6	7
	8（　　）						

県の広報活動について

㊹	1	2	3	4	5
	6（　　）				
㊺	1	2	3	4	5

家庭での防災活動について

㊻	1	2	3

㊼	1	2	3	4	5	6	7
	8（　　）						

読書活動について

㊽	1	2	3	4
㊾	1	2	3	4	5

㊿	1	2	3	4	5	6	7
	8（　　）						

男女共同参画について

51	1	2	3	4	5

子育て環境づくりについて

52	1	2	3	4	5

53	1	2	3	4	5	6

地域社会の住みやすさについて

54	1	2	3	4	5

社会活動･地域活動について

55	1	2	3	4	5

56	1	2

57	1	2	3	4	5
	6（　　）				

58	1	2	3	4	5	6

59	1	2	3	4	5
	6（　　）				

高齢者の社会参加について

60	1	2

認知症について

61	1	2	3	4

高齢者福祉サービスについて

62	1	2	3	4	5

がん対策について

63	1	2

64	1	2	3

雪対策について

65	1	2

66	1	2	3	4	5
	6（　　）				

環境保全活動について

67	1	2

68	1	2	3	4	5
	6（　　）				

地球温暖化対策について

69	1	2	3	4

70	1	2	3	4	5	6	7
	8（　　）						

海岸漂着ごみ対策について

71	1	2

72	1	2	3

循環型社会の形成について

⑬	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	10（　　）								

⑭	1	2	3	4	5
	6（　　）				

問５　あなたご自身について（質問用紙19ページ）

回答を統計的に分析するために、あなたご自身とご家族のことについてお知らせください。当てはまる回答の番号に○をつけてください。

⑮　あなたの性別（どちらかに○）

1	男性	2	女性

⑯　あなたの年齢（○は１つ）

1	18～19歳	2	20～29歳	3	30～39歳	4	40～49歳
5	50～59歳	6	60～69歳	7	70歳以上		

⑰　あなたのお住まいの地域（○は１つ）

1	鹿角地域	（鹿角市、小坂町）
2	北秋田地域	（大館市、北秋田市、上小阿仁村）
3	山本地域	（能代市、藤里町、三種町、八峰町）
4	秋田地域	（秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村）
5	由利地域	（由利本荘市、にかほ市）
6	仙北地域	（大仙市、仙北市、美郷町）
7	平鹿地域	（横手市）
8	雄勝地域	（湯沢市、羽後町、東成瀬村）

⑱　あなたの家族構成（○は１つ）

1	単身	2	夫婦のみ	3	親・子（２世代）
4	親・子・孫（３世代）	5	その他		

⑲　あなたが秋田県にお住まいになってからの、通算の居住年数（○は１つ）

1	５年未満	2	５～９年	3	10～19年	4	20～29年	5	30年以上

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
※本回答用紙のみを、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて６月６日（水）までにご投函ください。
※お名前・ご住所などの個人情報を記入いただく必要はありません。